



散歩道 (みち) は

散歩道 (どう)

今年80歳になり、子りこえていく我の道」  
どもたちからご覧の色 夫婦2人の名前の  
紙をプレゼントされ 入ったシャツにメッセー  
た。そこに出て来た道

「かんしゃの道を忘 「散歩道はまさに人生  
れずに じんせいをの の道」である。



プレゼントされた色紙

散歩はいつでもでき くれる探究心をくすぐ  
る趣味である。足に合 る「道」になつてきた。  
うシューズさえあれば 庭が荒れたり普段は余  
り気にしなかったこと

ただ、歩くだけでスト しか見たことのなかつ  
レスも発散できるし、 た花が他所の庭に咲い  
健康づくりや脳の活性 ていたり、猫じゃらし  
化にもなるらしい。そ の群生が風になびいて  
してその都度(つど) いる姿に感動したりす  
新しい発見がある。 る。若い頃にはなかつ  
古来、日本にはその たことである。

道を追求め、高い芸術 散歩の途中に人と行  
にまで達したものに き交う。そこでその人  
「道」という名前をつ との会話は一言か二  
けた。剣道、柔道、 言。ある時は老人に、  
茶道などと。 またある時は母親など  
散歩をはじめて新し であるがそこに笑顔  
い発見がある。私は今、 見つける。

秘かに散歩 道(さんぽ)と名 見つける。  
道(さんぽ)と名 学校が始まり、子ど  
どう)と名 もたちの制服姿が私に  
付けて楽し 希望や喜びを与えてく  
んでいる。若 れる。これも若い頃に  
い頃は車に はなかつたことだ。子  
乗って走る 道、人が行 どもたちの「おはよう  
道、人が行 だもたの「おはよう  
き交うただ ございます」という  
の道であつた 大きな声のわくわく感  
が、この齢に は何なのかと考える。  
なつて散歩は 歩きながら空き家や  
ただの道では ひとり暮らしの人の家  
なく人生を が気になりはじめた。  
豊かにして 新聞が入り口のドア  
かりである。

人生とは人や自然や 高齡化を悲観的にと  
ものを超えることでは なく、それらと共感し、  
なく、それらと共感し、 調和していくことでは  
ないかと気付かされ ないかと気付かされ  
る。 抽象論になると思う  
であると思ひ始める。

目で歩くと、何か全て 散歩しながらそんな  
が発見に思える。道路 横のアフリカンリリー  
もアナベルに止まる一 匹の蝶(チョウ)もし

目で歩くと、何か全て 散歩しながらそんな  
が発見に思える。道路 横のアフリカンリリー  
もアナベルに止まる一 匹の蝶(チョウ)もし



道路端に咲くアフリカンリリー



アナベルに止まる孫の網から逃げた蝶